記入例

令和　4　年寄附分　市町村民税・道府県民税　寄附金税額控除に係る申告特

令和　4　年　11　月　1　日 宝塚市長　殿		整　理　番　号	
住　所	〒665-8665 宝塚市東洋町 1-1 赤字部分の記載	フリガナ	タカラヅカ　タロウ
		氏　名	宝塚　太郎
		個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3
電話番号	0797-77-2001	生年月日	明・大 昭・平　2　.　11　.　1

（注）「個人番号」欄には、あなたの個人番号を必ず記載してください。

個人番号確認等のため、以下の書類（詳しくは次ページ参照）を添付します。
☐　個人番号カードの写し　　☐　通知カード等及び運転免許証等の本人確認書類の写し

提出する添付書類の組合せにチェック

あなた　法附則第７条第１項（第８項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

（注１）　上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の１月 10 日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

（注２）　申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第７条第６項（第 13 項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第４号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金控除に関する事項を記載した確定申告書又は市長村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

１．宝塚市に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和　　年　　月　　日	円

２．寄附額・寄附年月日を記入（寄附年月日は不明の場合空白でも可）

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の□にチェックをしてください。

①　地方税法附則第７条第１項（第８項）に規定する申告特例対象寄附者である	☐

（注）　地方税法附則第７条第１項（第８項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に
をいいます。

注意事項を確認しチェック

(1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第 120 条第１項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第 121 条（第１項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者

(2) 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の４月１日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

②　地方税法附則第７条第２項（第９項）に規定する要件に該当する者である	☐

（注）　地方税法附則第７条第２項（第９項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め
の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が５以下であると見込ま

注意事項を確認しチェック

---------- （切り取らないでください） ----------

令和　　年寄附分　市町村民税・道府県民税　寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住　所	〒665-8665 宝塚市東洋町 1-1	受付日付印
氏　名	宝塚　太郎　殿	

赤字部分の記載

受付団体名	宝　塚　市